

2025 年 7 月 7 日

## 1 情報通信機器の保有状況

総務省が毎年実施している通信利用動向調査 [1] によると、図 1 に示すように、情報通信機器の世帯保有率については、携帯電話やスマートフォンなどのモバイル端末では、9 割を越えている。その中でも、スマートフォンの普及が進んでおり、8 割以上の世帯で保有している。

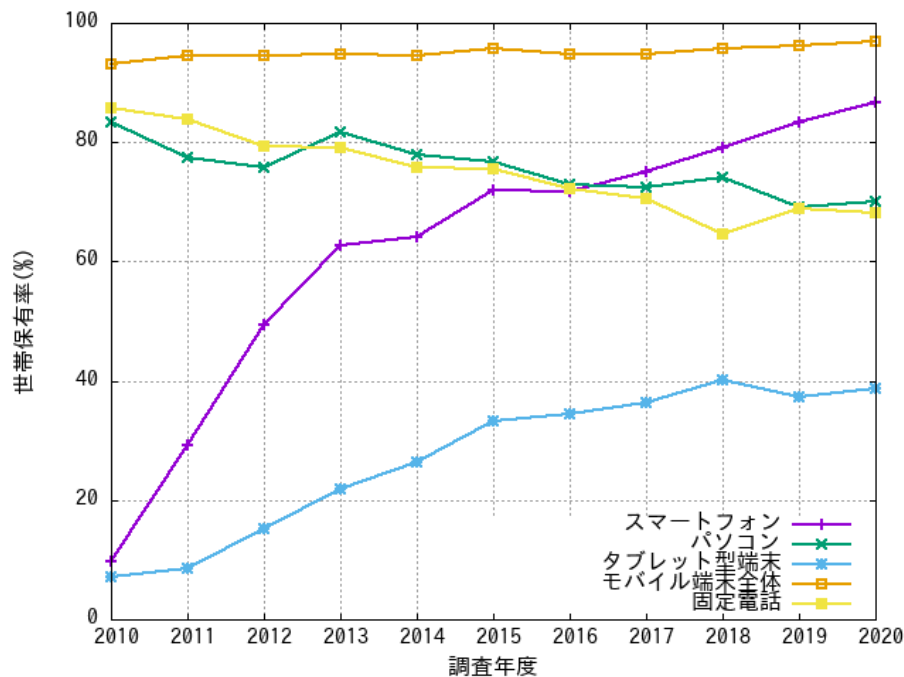


図 1: 情報通信機器の世帯保有率

## 2 端末の利用状況

普段、私的な用途のために利用している端末で最も多いのは、表 1 に示すように、スマートフォン (89.4%) で全体の 9 割近くが利用していた。続いて、テレビ (50.8%)、ノート PC (48.5%)、タブレット (26.5%) の順で多く、テレビを除くと、持ち運びできる端末の利用が多い [2]。

## 3 インターネットを利用したサービスの利用状況

インターネットを利用したサービスについて、普段の利用状況について尋ねた結果 [2] の上位は次のようになっている。

表 1: インターネット端末の利用状況

端末の種類	利用状況 (%)
スマートフォン	89.4
従来型の携帯電話	7.0
タブレット	26.5
ノート PC	48.5
デスクトップ PC	20.9
ゲーム機	11.4
テレビ	50.8

- 「インターネットショッピング」 (73.4%)
- 「支払い・決済 (クレジットカード等)」 (66.9%)
- 「地図・ナビゲーション」 (61.4%)
- 「情報検索・ニュース」 (57.9%)
- 「動画配信」 (55.6%)

インターネットの活用は日常生活に浸透しているといえる。その中でも、特にインターネットショッピング、支払い・決済、動画配信等の生活やエンターテインメント関係の利用が中心となっていることがわかる。

## 参考文献

- [1] 情報通信白書. 総務省, 2021. <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/index.html>.
- [2] ウイズコロナにおけるデジタル活用の実態と利用者意識の変化に関する調査研究. 総務省, 202. [https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/linkdata/r03\\_01\\_houkoku.pdf](https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/linkdata/r03_01_houkoku.pdf).